

第1回原野谷学園新たな学園づくり地域意見交換会 主な御意見・御質問

日 時	平成30年1月17日（水）19:00～20:30
場 所	原谷小学校多目的教室
出 席	地域住民約70人（検討委員会委員含む） 事務局 教育長、教育部長、学務課長、学校教育課主席指導主事、 学校教育課主任指導主事 教育政策室長 教育政策室係長、 教育政策室主任、教育政策室指導主事

- 1 【御意見・御質問（平島の方）】
- ・住民の合意という問題をどうとるのか。
- 【事務局の回答】
- ・地域検討委員会でじっくりと話しながら、一緒に検討していきたいと考えています。

- 2 【御意見・御質問（平島の方）】
- ・小規模校には教育上の利点があるので小規模校として残していくのが望ましい。

- 3 【御意見・御質問（本郷の方）】
- ・1学年に複数の学級ができるというような話があったが、これが現実的に可能なかどうか。

- 4 【御意見・御質問（本郷の方）】
- ・この地域に区画整理をして住宅を推進するとか、工場の誘致をすることでいろいろな方法があるかと思うが、構想の次の段階を考えておかなければいけないのではないか。その次の段階というのは学区の見直し、これは必要ではないかと思っている。
- 【事務局の回答】
- ・さらに先の話になると思いますが、学区の見直しについて、その将来像を見極めながら検討していきたいと思っています。

- 5 【御意見・御質問（本郷の方）】
- ・こうした説明会、意見を聴いていただく機会を設けていただくことは非常にありがたい。基本的には一貫教育に賛成である。ぜひ素晴らしい一貫教育を展開していただきたい。

6 【御意見・御質問（本郷の方）】

- ・一貫教育の問題を考えていく時に、課題や問題がどこにあるのかを具体的に説明をしていただくと、より明確にイメージできるのではないかと思います。
- ・一体型にすると、今3つある学校が1つで済む。義務教育学校であれば管理職も1人でよい。市で考えれば、3つの施設が1つになればコストパフォーマンスが上がる。このような具体的な事例や課題などの話をしてくれれば、わかりやすい。

【事務局の回答】

- ・小中一貫教育の課題等については今後、地域検討委員会でも出して検討をしていきます。そして、第2回目の地域意見交換会で話をしていきたいと考えています。財政面や子どもの数の問題、地域の実情等、いろいろな面が考えられると思うので、それを提示しながら御意見をいただきたいと思っています。

7 【御意見・御質問（本郷の方）】

- ・義務教育学校と一貫学校は違うという認識をしている。一貫学校はあくまで小学校があって中学校があって連携をするということだが、義務教育学校は1つの学校となり、9年間のカリキュラムを組んで教育を行う。義務教育学校から一般の学校に転校すると、教育課程が違うためものすごくギャップが生じるといったデメリットがある。義務教育学校は教育の複線化の1つ、というような大きな違いであるとするのがいかか。一貫型か義務教育型かを検討するとあるが、義務教育型にするのであればかなり論議を深めなくてはいけないのではないかと思います。

8 【御意見・御質問（本郷の方）】

- ・先生方、地域の方、子どもの意見を聞いていただきたい。

【事務局の回答】

- ・先生、地域、子どもの意見をしっかりと聞きながら進めていきます。

9 【御意見・御質問（栃原の方）】

- ・これから先、日本全国で子どもが少なくなって高齢化が進んでいく。教育にはお金がかかるが、今の状況を掛川市が維持していくことができるのか心配をしている。そういう点から考えた時に小中一貫教育というのは何かメリットがあるのか。掛川市の広報で財政については、今は健全財政となっているけれども、この先どうなるのか不安に思っている。

【事務局の回答】

- ・今ある施設（教育施設だけでなく市全体の施設道路や橋などをすべて含めて）を維持していくのに1年間どれくらいかかるのかを試算した場合、今後50年間を平均すると、年間102億5千万円の経費がかかると試算されています。水道・下水道など使用者の負担によって維持管理を行っていくものが約30億円、残りの70億円程度が市の税金等を使った管理・更新が必要です。これまでの予算規模で管理・更新に充ててきたのは40億円程度であり、何もしないと30億円程度の不足が予想されます。この数字は教育施設のみに関するものではないですが、このことについても考えておかななくてはいけないと思います。

10	<p>【御意見・御質問（平島の方）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちに関係すると分かるような広報をしてくれれば、もっと考えてもらえるのではないか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域意見交換会の広報の仕方については検討して参ります。お近くの方にも声をかけていただきたいと思います。
11	<p>【御意見・御質問（平島の方）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は地域のコミュニケーションの一番の場所であり、なくなるということは、10、20年経つと地域は疲弊する。防災力も弱くなるし、地域が弱くなるという点をどう考えているか。 <p>【事務局の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切な地域のコミュニティーである学校の問題であるので、地域の皆さんと一緒に考えていくことが大切だと思っています。
12	<p>【御意見・御質問（検討委員会 副委員長）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園のことについて自分たちが考えて取り組むのは、これからの子どもたちのために自分たちは何ができるのか、それが一番大切ではないか。
13	<p>【御意見・御質問（検討委員会 委員長）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫の課題は、市からも情報の提供があると思うが、住民の皆さんが第一であるので、皆さんの中でもできるだけ意見交換をして、これからの原野谷地区をどのような方向で進んでいくことが地域全体として望ましいのか、意見交換会の中で出して行って、まとまるのであるならばまとめていただきたいと思います。検討委員会でも尊重して進めていきたいと考えている。
14	<p>【御意見・御質問（細谷の方）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掛川を小中一貫校の教育特区として、特別な教育をするところ、少数精鋭の小学校、中学校をつくってもいいよというようなことにすれば素晴らしい人材がこの地から生まれてくるのではないか。
15	<p>【御意見・御質問（幡鎌の方）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に今の事情を考えれば小中一貫教育は問題点を解決していくという条件で賛成したい。今後何回も会議を開くので、そこで問題点を解決していただきたい。